

警城時報

行發日四廿
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金貳圓
廣告料 一行十四字 日五十五錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

純ドライ
クリーニング
あらゆる機械設備に依る
(責任アル仕) 白榮舎
ランドリー
平市田町

支那事變國債 期間内の消化確實

二十一日から賣出し
國民の支持と接援によつて支那の三萬五千七百五十圓は既に大らしい成績を擧げてゐる支那事變の國債があり、來月十三日か變國債の長年第二回賣出しは市第一回を賣り出される報國債内各局でも二十一日より來月三回分の割増し一萬圓の消化に日迄を期間として行はれて居るから多量賣れ行きが鈍るではないが、昭和十一年第一回賣出しの如くこの豫想も幸にして取り越以來前回迄に於ける平局の消化し苦勞を終り、期間内の消化は額に五十萬圓を遙かに突破する大體確實と觀られてゐるの好成绩を示し、今回割り當て

自動車協會で 表彰された人々

二十三日郡山市公會議で開かれた自動車協會本年度大會で表彰された地方關係並に關係建議事項左の如し
▲表彰者(平) 佐藤二郎、大和田七郎、志賀知吉、淺沼末四郎、笠間勝利、高橋次枝、(植田) 芳賀熊次、猪狩早苗、我妻梅次、青木久次、(四倉) 三内政太郎
一、自動車商業組合縣聯合會を組織すべきや或は各地商業組合の存続又は解散の成否如何(平)
一、商業組合機能停止(四倉)
一、自動車々輛数を調査し今後ガソリン其他の關係により一時休廢車すも將來ガソリン規正配給は舊の調査車輛に基準

物見ヶ岡 再建費寄附

本婦人の信仰者あつたをばじめ匿名の寄附申し出で者も若干あるに於て市内物見ヶ岡稻荷街の神社の再建復興に就ては氏子たる田町區民は勿論一般市民其他多數寄附者から一日も早くその造営を望まれ地元田町から市内各區長に依頼し各方面より寄附金募集を計劃し大体一萬圓を目標に目下着々進行中であるが、中には田町の内藏區長を訪れ名義學校委員會を開き開校の前に告げずには百圓を提供した熱心して種々協議する

米増産計劃 平市の實行督勵委員

平市及び石城郡の米増産計劃は一千九百九十七石、何れも三本年度制當て會報の如く市部は一厘六毛の増收を成し遂げやう七千七百八十石の基準に對してとする兩者の合計計三萬三千廿三二百四十六石、計八千二百六十六石に達する六千三百四十四石の増那部は十八萬六千九百九十九石の基準を計劃されてゐるが、右に對して五千八百八十八石、計十九萬九千九百九十九石に達する

數の子の煮付け ダン拔きのアラ

兵隊さんの奇抜な料理
中支派遺軍 小野 好 雄
随分暖かくなつて参りました。一袋千里の麥畑もすでに穂が出初め、その中に點々として咲き亂れる菜の花、すくすくと伸びた柳の芽も春風に靡かせてゐます。丘にはすみれ、たんぽぽの花も咲き、桃の花もあちこちに見受けられます。一寸さびしさを感ぜさせられ

東寶映畫の返り咲き 雲月の九段の母

あわたたしく去つた櫻花の後に
東寶映畫の返り咲き
雲月の九段の母
A 腰をのびした母親が枝を力に
出て來れば、晴れたる九段の
大空に高くはためく日章旗、
あゝこの御旗の下なれば可愛
わが子を捧げて何の辛か
悲しがる、につこり笑ふた軍
國の母の鼓腹に流れ来るは何
處で歌ふか少年達の聞くも勇
まし歌の聲?
祖國は聖し! 祖國は尊し!
一人子を奮けて強きこの母を
見よ、國に捧げんこの誠、軍
人の精華、銃後の覺悟、雲月
の名調子を鮮かに生かす東寶
映畫の愛國篇
B 秀子の感涙劇
日本野球聯盟後援
八大職業野球團のスター
F 大 野 郎 主演
三映社特撰提供
グレース・エルクレーニ主演

青年團に寄附 結核を

青年團に寄附
結核を
▲結核は初期の中に正しい醫療の方法を講ずれば必ず治るものであるから悲觀せず正しい醫療の途に就くやうになさい。
五月一日から
健康 週 間
なにか驚ろきました、之は私等の屋へ慰問品として送られてきました。此の手紙が着く頃にはもう櫻の花も散つて葉櫻となつて了うであらうです。松ヶ岡公園の賑やかさ、縣社のお祭り等それからそれへと思い出されます。慰問品は思ひますが、慰問品を前にして振られまして是非願ひ致します。陣中アルバムの一頁を飾りたいと思ひます。私等も任地到着以來幾度か戦陣に、或は討伐にも参加致しました、その内面白い事を二三左に書いて見たいと思ひま

端午の節句

端午の節句
その名義と由来
一月一日、三月三日、五月五日
來て、煮出した汁を捨て、了つたので、おこつたり、笑つたり大變です。
又戦陣中は勿論ありませんが、二十日も一ヶ月も入浴が出来ない事があります。一晩でも宿營する時は努めて入浴する様にします。勿論風呂桶等はありません。即ちカメ風呂です。鍋でお湯を沸かし、それをカメに入れて入るのです。一番最初はこんなカメ等が入つて見ると足と胸の邊まで伸ばしてまるで赤ん坊が手足をちぢめてゐる形です。先は右お禮まで、生徒の皆々様(へよう)と、さようなら。(岡田華悦宛)

先づ病氣の程度を正確に診断日、七月七日、九月九日を五節句といふ。

先づ病氣の程度を正確に診断日、七月七日、九月九日を五節句といふ。一月一日は別として五節句は古くからの節句を其のまゝに慣行され、寧ろ年々盛衰が必要で、それには健康相状況をたどるといふ有様である。談所、保險所又は信用ある病醫三月三日の雛祭、桃の節句、即ち女児の祝。五月五日の端午の節句は蕪酒の節句といひ男兒見されてゐません、色々の廣告ひ先を祝する主旨で、其の根さしは深い。
端午は初めの義、午は五である、午と五は古くから相通じて居る、端午即ち初午五、即ち五五、五月五日となる、また重五或は重午ともいふ、日本では聖武天皇の天平年中に始まり平安朝より盛んに行はれ、先づ四日に主殿寮がこれを所々の殿舎の軒に張ぎ、五日には経殿寮陛下にはこれをかけ給ひて武徳殿に行幸あらせられ節句を行はせ給ふ、拜賀の群臣も皆蕪酒をかつらとする、又この日典藥寮から蕪酒の御枕を上つり、群臣には薬玉を賜ひ、華つて騎射を行ふ、朝廷の公事は斯くして歴代相傳へ、鎌倉幕府も祝日として、江戸時代には五節句の一として上巳の節句と同じく重儀となし、出仕者は染帷子着用の上で祝賀したものである。

開業廣告

先般平市五丁目額賀醫院にて治療致して居ました**點送電氣治療所**が四月二十二日より左記の場所に開業致しました

◎病名不明の病者は御出下さい
 點送電氣にて判明致します
 ◎電療の特長は特にリウマチス、神經痛、胃腸病、其他諸症
 (但し開業披露ノ爲二十三ヨリ二十九日マデ)
 (ハ治療代半額頂キマス
 平市田町十九番地(末廣向ヒ)

菜花電療院



銃後の作家計費引下
 一日のザレズレを
 十音のザレズレを
 便利用下
 平マキド
 五十錠入
 一、二〇〇
 百錠入
 二、〇〇〇
 徳川橋
 五、〇〇〇
 特約店
 平市野山
 五邊
 目薬局

男女車掌募集 (三名)

1. 年齢十六才より十九才まで
 2. 未経験者にも可
 3. 給料其他は委細面談
 合名 平・四倉乗合自動車
 会社
 平四町目【電話五四九番】

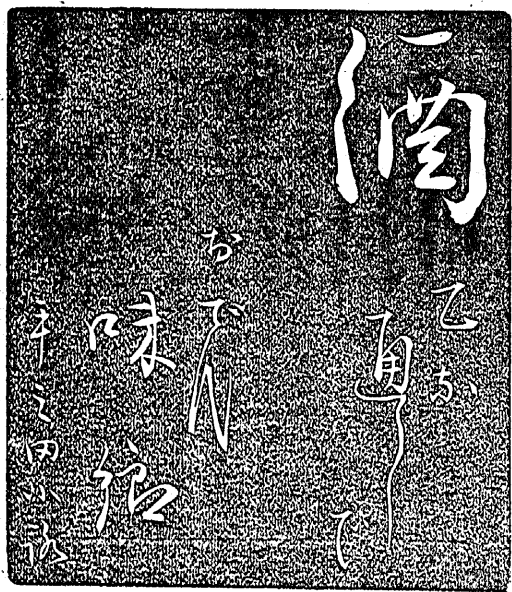
吸入用酸素純度99%

度量器
 モノサシ
 ハカリ
 マス
 体温器
 寒暖計
 秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
 写真機
 材料一式
 寒暖計
 体温器

関内薬局
 電話四〇番



特約店
 大平屋藥店
 平市一丁目
 (電話四六二)



募集

永續者には將來の保證を致します

ボーイさん
 ◆堅實な營業方針のサロンのお客様は當地一流の方々です
 ◆色々な方に接することが社交機體の實に學びの場となります

調理見習婦人
 ◆定評あるサロンの調理法を御傳授いたします
 ◆見習ひとして調理場に御勤務出来る御婦人に限る

◆14歳以上30歳迄の健康な方
 ◆3年以上勤続出来る方
 ◆親権者若くは本人御來談下さい

平市銀座街
 電話592

サロン

油と味噌 合盛屋

平市古鍛冶町
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)二七番
 振替東京 一九五七五番

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

おでん

◆...出前迅速
 十一屋食堂
 平局前 電話三七三番

カリエス 高血圧 二葉滋器治療所

平市大町電話一九三番

移轉廣告

今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
 昭和十四年四月
 平市南町十四番地(警察署通り角)
 (舊診療所 平市六丁目)
木村外科醫院
 木村 淳
 電話三〇九番
 ◎入院應需

高久病院

平市田町(電話五二三番)
 院長 高久 忠
 副院長 赤羽 清
 藥局長 佐竹 菊雄
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科

小兒科 志賀醫院

平市南町
 (入院ノ需ニ應ズ)
 電話一六二番

自動車 運轉手 募集

▲年齢を問はず
 ▲給料其他優遇す
 四倉町字仲町(寺町)
新妻自動車
 電話一六〇番